

コロナ禍における単位自治会の活動アンケート結果報告

実施時期について

令和3年1月8日～1月20日

回収状況について

配布数	191
回答数	145
回答率	75.9%

1. 各活動について、例年及び今年度（令和2年度）の状況について

(1) 総会

例年実施している	137
今年度も実施	119 (87%)
今年度は中止	17 (12%)
例年実施していない	8

(総会の工夫)

書面開催 94 件
 人数制限（新旧役員、質問ある人のみ等）8 件
 公園で実施 5 件
 感染防止徹底 3 件

(2) 夏祭り

例年実施している	77
今年度も実施	4 (5%)
今年度は中止	73 (95%)
例年実施していない	68

(夏祭りの工夫)

場所、内容を変更して実施
 お供えのみにした（地藏盆）

(3) バスツアー

例年実施している	85
今年度も実施	11 (13%)
今年度は中止	73 (86%)
例年実施していない	60

(バスツアーの工夫)

バス内の人数を減らす 4 件
 コロナの状況による 2 件
 近場を選定 2 件
 密を避け、室外中心 2 件
 交通機関を利用していける場所にした
 昼食各自弁当
 バスの席を家族単位にした

(4) 防災訓練

例年実施している	96
今年度も実施	49 (51%)
今年度は中止	42 (44%)
例年実施していない	95

(防災訓練の工夫)

役員のみ参加 8 件
 屋外で実施 8 件
 少人数で実施 3 件
 密にならないように 3 件
 感染防止に注意（マスク着用等） 3 件
 防災チラシの回覧、情報の提供 2 件
 時間を分けて複数回実施
 時間短縮して実施
 避難訓練、団地消防訓練
 DVD 鑑賞
 AED 取扱いに特化

(5)もちつき	
例年実施している	61
今年度も実施	8 (13%)
今年度は中止	50 (82%)
例年実施していない	84

(もちつきの工夫)

市販の餅を配布 3件
餅を機械でついて実施
屋外で密を避けマスク・消毒を行い実施
餅の持ち帰りのみで実施
時間を分けて餅を取りにきてもらった

コロナ禍においても実施を継続された行事や事業について

- 地域の清掃 42件
- 役員会 17件
- グランドゴルフ 12件
- 百歳体操 11件(内2部制にして実施3件)
- クリスマス会・クリスマスプレゼント 12件
- クリスマス飾付(イルミネーション・ツリー) 2件
- 長寿お祝い会 14件
- 年末パトロール 12件
- 防犯パトロール(夜間含) 7件
- ハロウィン(菓子の配布のみ含) 7件
- サロン・カフェ 9件
- 芋掘り 7件
- 公園・花壇の手入れ 10件
- 子どもの見守り活動 5件
- ラジオ体操 5件
- 菓子等配布(記念日) 4件
- 資源ごみ・リサイクル品回収 4件
- 生け花、寄せ植え、門松作成 3件
- 焼き芋大会 2件
- 輪投げ大会 2件
- 花火大会 2件
- 地域支えあいマップ作り 高齢者・身障者お助け活動

例年実施してないが今年度は実施した(する予定)の行事や事業について

- 自治会費全額または一部免除 22件
- マスク等配布 18件
- 消毒液等配布 3件
- レジ袋ゴミ袋配布 6件
- 商品券、菓子等配布 4件
- ハロウィンイベント 2件
- 常備用マスクの購入
- 各エレベーター、事務所にアルコール消毒液配置
- 業者による各階通路の清掃
- 共同利用施設の利用者の為に、非接触体温計を自治会で購入、貸出し
- 令和2年度より班長会はLINEを使用している
- 公式LINEの加入促進キャンペーン(粗品プレゼント・操作支援をする登録会実施)
- 地域の飲食店で利用できるクーポン配布
- 子ども会が年間行事の写真掲載のカレンダーを全戸・協力企業へ配布
- イスニヨガ体操を10~13名で始めた。
- 子ども会保護者が防護ガウンを作成し、医療関係機関に寄贈

センター建替えに伴う、お別れイベント開催
 特別定額給付金、マイナポイント申請の手伝い(希望者のみ)
 自治会探検ゲーム
 わが町ハイキング
 自治会費の一括徴収
 拡大自主防災会(民生児童委員参加)
 コロナ関連の県知事・伊丹市長のメッセージ回覧
 資源ゴミ集団回収 もち投げ(もちつきの代替)
 お楽しみ会(クリスマス会の代替)
 ローズレー梅ノ木にて、イルミネーションを設置
 老人会とのふれあいを兼ねた町内清掃を実施
 防災講座実施
 地元商店会イベントへの協力

2. 会議・情報発信・情報共有に、オンラインツールを活用していますか

はい	15 (8%)
活用予定	3 (2%)
(使用ツール)	
zoom	1
LINE	14
FaceBook	1
ホームページ	3
グループウェア	1
その他	3
いいえ・未回答	127 (88%)
(いいえの理由)	
方法がわからない	14
インターネット環境がない人への配慮	63
必要ない	27
その他	19

(その他の使用ツール)

Drop Box、スプレッドシート、電子メール、
 その他 SNS、
 市の HP・Facebook に自治会だよりを掲載

(オンラインツール活用なし その他の理由)

高齢者が多い 8 件
 運用する人手が足りない 3 件
 PC・スマホ等使っていない 3 件
 対面重視 1 件
 紙で回覧 2 件

3. コロナ禍における自治会運営について

困っていること(困っていたこと)

【事業実施やつながりの希薄化】

事業が出来なかった 20 件
 準備段階で、感染予防に時間と予算がかかるが、開催できない局面がある
 コミュニケーション不足 9 件
 人の集まりにくくなった 9 件
 行事等開催判断が難しい 4 件
 今年は全ての催しが中止になり、催しがなくても困らなかったのも、今後はやらなくて良いという風潮
 が芽生えないか危惧している。
 何も出来ない。自治会として成り立たないのでは?
 カラオケ演芸大会の内容について
 回覧 7 件
 (受取拒否、仕分け作業後の引取りが密になる、回覧による人との接触、回覧をしてよいのか等)
 いかなる時も地域のコミュニティ形成は顔・姿・ことばが必要不可欠と考えます。その為にはコロナの

早期収束に全員が力を合わせることに。

【自治会運営について】

情報の共有及び伝達が難しい 5 件

役員会の回数・時間短縮 4 件

自治会費集金 2 件

感染予防に対する不安(クラスター等) 2 件

月 1 回の役員会を開催しているが、最寄りではない離れたセンターの広い部屋を借りて利用。

民生委員の高齢者宅訪問が自粛のため、困っている方への民生委員と自治会との連携が取りにくく、円滑な対応が困難であった。

自治会運営 従来よりまとまりが悪い(高齢化他)

班長会などの会議への参加人数が制約されることにより、共通理解を図るための連絡文書の量が増えた。

一年交代役員なので次年度への引き継ぎ(ほとんど何もしていない)

市からの要請(防災 補導 など)の対応があるが、会議のため人をあまり集められないので自治会の意思決定がしにくく困る事がある。

80 代女性 2 人の班長に気を遣います。(今年は高齢者が頑張ってくれています)

【会員減少・その他】

会員数の減少(公共の為に時間を割く余裕はないか?)

若い人が参加してくれない(高齢者が多いため)

高齢者が多いので若い人と同じ様にはいきません。

マスク着用で声が通りにくくなった。

良くなったこと

【オンライン化の取り組み】

LINE 等の連絡が充実、SNS 導入のきっかけとなった 4 件

連絡がスムーズになった

情報やデータのやり取りがリアルタイムでできる

【事業や行事の見直し・効率化】

事業、運営面の見直しが出来た 4 件

大きな問題を役員で、全力で取り組む事が出来た

各役員が班長との、又住民との意思の疎通がはかられた 班長の意見活発化
皆時間を守るようになった

【人とのつながりの見直し】

一人暮らしの高齢者への安否を気遣う頻度が増加した

【その他】 転入者に若い方が多く、子供が増えた

今後取り組みたいこと

【事業や自治会運営の見直し】

レクリエーション主体からの脱皮→防災・防犯重点化、環境整備推進など

高齢者に対する支援

防災部と福祉部の設立と両部のマッチングに取り組むたい。

殆どの事は市報に書いてあるので、回覧の発行回数を減らし、役員の手間軽減に。

理事会運営の簡素化…理事数、回数の削減

【オンライン化・役員連絡手段・広報活動の見直し】

広報誌を年 2 回発行予定

班長には回覧の電子化

市から講師を派遣してもらい、オンライン化普及を広めたい。(ZOOM 会議)

高齢化の為、電子化は不可能に近い

役員間の連絡手段としてオンラインツール(ライン、メッセージ等)の利用

3 密を回避した回覧板の仕組み(当面ネットを利用した情報発信は考えていません)

リモート会議への取組み

【つながりづくりの継続】

地域も高齢者が増しコロナ感染拡大による引きこもりが多くなり、心身共の衰えがあり、何とか考えていきたい。

地道に地域の方々とふれあえる自治会活動の重要性を改めて痛感している。

コミュニティ活動の基本は直接的な人と人とのふれあいなくして活性化しない。会報紙による情報発信は一方向で代替できない。

【担い手育成・加入促進】

いかにして男性諸君を動かすか

後継者の育成(候補者選定)

新規会員の勧誘(特に新築マンション等に入居している子育て世代)

4. 自治会連合会に求めたい支援や、取り組んでほしい事項

【加入促進・自治会運営への支援】

会員を増やす為の施策に取り組んでほしい。

若い方、若い夫婦の会員加入の方法。各自治協、自治会から聞いてほしい。

賃貸マンション入居の住民への自治会入会へ案内を出して欲しいです。

20~40代へ伝わる自治の意義の発信

今後はボランティアだけの運営は非常に厳しいです。新たな運営方法を模索中です。

働きながら自治会活動がしやすいようにして頂きたい。

行政も人手不足で大変なのは分かるが、自治会も高齢化社会で女性の若い方は働いている人が多く、会長に管理的な仕事が増加しているので改善する必要がある。

【自治会間の情報共有・研究】

昨年10月にあった研修会のような講演会をやってほしい。

今後の自治会のあり方(役割等々)の検討(今年度の総務委員の研修は大変興味深かった=内容も手法も)

他自治会の取組み等の情報展開

【自連運営改善・オンライン化】

コロナをマイナスと捉えず、オンラインの普及に方向転換してほしい。

ブロック長会での議題がもうひとつ反映されていないと思う?連絡会みたいです。

ブロック会議や委員会をリモートにしてはどうか

LINEでそのまま流せる情報データを送っていただけたらみなさまに伝えやすいです。

【コロナ禍対応】

有事の時には各自治会が何を望んでいるのかを把握し、行動に移してもらいたい。(マスク購入等々)市へ要望すべき。

他自治会のコロナ禍でのいい活動を紹介してほしい 2件

この時期の自治会活動は、自粛できることは自粛し、書面で解決できることは書面で行っています。よって活動は極力自粛すべきでは。

非接触型体温計の貸出等、当自治会ではすでに購入し対応している。自治会連合会の対応は現況のコロナ禍において後手に回っている。自治会連合会自体組織としての体を成していない。

【その他自連への要望・行政への要望】

地域課題等に取り組んで欲しい

プロジェクターの貸出

災害用井戸設置に対する補助金設置の働きかけ

掲示、回覧物配布時のポリ袋廃止(→例)紙袋に変更

配布案内状の廃止(必要時のみ、定期便不要)→紙削減

高齢化が進み、回覧物は大きい字にしてほしい。

自連ではないが市に環境美化に力を注いでもらいたいと思う。高齢化により今まで通り出来なくなっている。